

薬用作物産地支援 栽培技術研修 東海・近畿会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 三重県教育文化会館(三重県津市桜橋2-142)第2会議室

実施時期： 10月8日(火)～9日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
10月8日 (火)	13:10- 13:30 (20分)	13:00現地集合 場所:鈴鹿駅前(伊勢鉄 道) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30- 15:00 (90分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等につ いて	三重県鈴鹿市 障がい者アグリ就労 支援会の管理圃場(シャクヤク)にお ける現地研修を通じて、薬用作物の特 徴、栽培上の注意点、種子・種苗の供 給、品質評価等について、今後の支 援に必要な知識・技術の理解を深め る。		
	15:00- 15:40 (40分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:00- 17:00 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズ と今後の国内栽培につ いて	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生 産の現状、国内産地化に期待する内 容について理解する。	小柳 裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班長
10月9日 (水)	9:00-10:30 (90分)	[講義] 薬用作物の栽培にあたっ て(仮題)	地域の生産者から要望の高い栽培技 術について解説する(シャクヤク、トウ キ等)。	柴田 敏郎	国立研究開発法人医薬 基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究セン ター 客員研究員
	10:40- 12:00 (80分)	[講義] 農水省委託プロジェクト研 究「薬用作物の国内生産 拡大に向けた技術の開 発」の取り組み(仮題)	薬用作物生産の低コスト化や安定化 等を可能とする技術開発を目的とした 標記プロジェクトの概要、ならびに地 域におけるこれまでの取り組み成果に ついて解説する。	川嶋 浩樹 小林 泰子	農研機構西日本農業研 究センター 畑作園芸 研究領域 施設野菜生 産グループ長 三重県農業研究所 茶 業・花植木研究室 花植 木研究課 主幹研究員 兼課長
	12:00- 13:00	昼休み			
	13:00- 14:30 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地 形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた 課題について情報交換を行うととも に、今後の産地育成支援の進め方を 討議する。	講師同席	
	14:30-14:50	閉会	研修に対する評価等についてアン ケート調査を実施	事務局	